

基本的な バレエメイクの仕方

最初に

これは、あくまでも基本的なものです。これが完璧なものではありません。先生によって違ったり、もちろん各自により違ってきます。また、役柄によっても違ってきます。

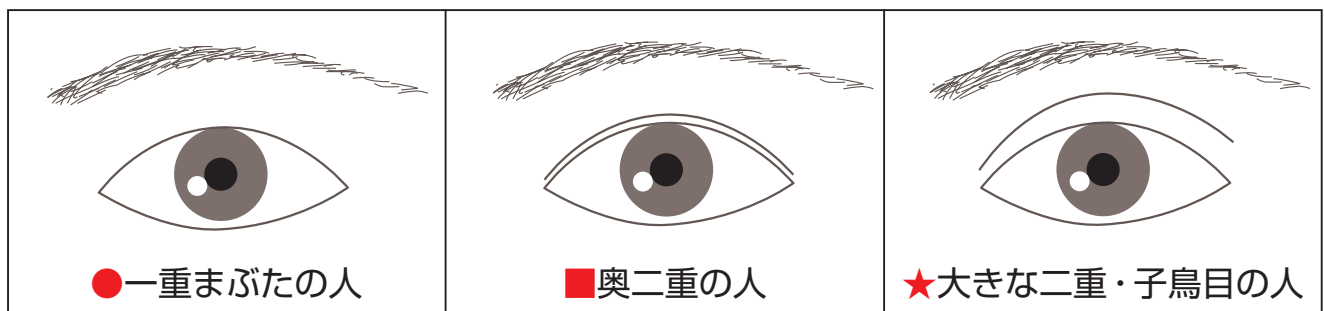
10人いたら、10通りのメイクの方法があるわけです。

「あ！ここ違う。」とか、「私のやり方の方が綺麗だわ！」など、ご意見がありましたら、**バレエ掲示板**か、**メール**でどんどん聞かせて下さい。参考にしよてより良い物を作っていきたく思っています。

用意するもの

- ドーランの肌色(23Pか24P)…ここでは、24Pを使いました。先生によって違うので、合わせて下さい。
- ドーランの茶・ブルー・白
- 粉(白)
- との粉…固形・リキッドタイプいろいろあります。
- スポンジ(ドーラン用・との粉用)
- パフ(粉用)
- まゆ墨(黒・茶)
- リキッドのアイライナー
- ビューラー・マスカラ
- 付けまつ毛・付けまつ毛用糊
- アイシャドー(茶・ブルー・紫etc.)
- ほお紅・ほお紅用筆(大きいほうがベター)
- 口紅…(役柄によって色が違ってきます)普通はわりと派手な赤
- 各種筆…紅筆・ドーラン用筆2、3本・その他
- 綿棒…修成用はみ出した色を消すのに便利
- ティッシュペーパー
- コールドクリーム…メイクを落とす時とドーランが堅くなった時に使います

自分のまぶたをよく見て下さい。

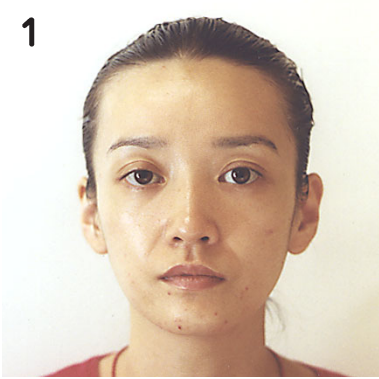


人それぞれに、まぶたの形が違います。まぶたによって、またメイクの方法も違ってきます。

自分がどのタイプなのか、一度じっくり鏡を見て下さい。

今回はおおまかに3タイプとしました。

1



1. まず、頭をおだんごに、きっちり上げます。
この時、前開きの物が襟ぐりを大きく開けたものを着て下さい。後が大変です。

注意点 おだんごの作り方がわからない人は、「**上手なおだんごの作り方**」を参照して下さい。

2



2. ドーランを塗ります。

注意点 顔全体にまんべんなく塗ります。忘れがちなのは“目の下、しわの中、おでこの生え際、唇、耳の後ろ側、あごの下”です。

ポイント 生え際は、スポンジを髪に向かって塗り上げて下さい。あごの下も首に向かって塗って下さい。これをしないと「お面」をかぶっているようになります。

3



3. ドーランの青でベースのアイシャドウを塗ります。次にドーランの茶で鼻立をします。まぶた全体に伸していきます。

注意点 ★の人は、広めにブルーを塗って下さい。目を開けたらブルーがまぶたで隠れてしまいます。また反対に●の人はブルーの塗り過ぎに注意して下さい。目をつぶっても開けても同じ量が見えてしまいます。



ポイント ドーランの青はそのままだと、強烈な色なのでドーランの白を少し混ぜて使うと良いでしょう。

鼻立では左右対称になるように、薄く茶を乗せて、指で目頭の上から鼻の下に向かって伸ていきましょう。

4



4. 粉をはたきます。

粉が舞う位はたいて下さい。パフで叩くようにして、白い色がなくなるまで塗り固めます。

注意点 粉が薄いと、ドーランのベタベタが他の化粧品についてしまいます。もちろん後で、粉のアイシャドーがのりません。注意して下さい。

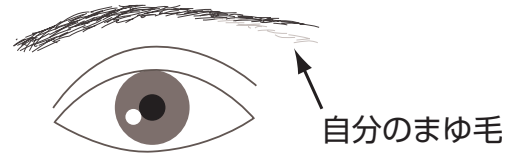
ポイント この時の固め方が化粧崩れを防ぐテクニックです。



5. アイブローでまゆ毛を描きます。
 普段のメイクと同じです。一気に描くと不自然なので、まず茶のアイブローで形を作り、後から黒のアイブローで仕上げていきます。太すぎても細すぎてもだめです。

注意点 自分の本来のまゆ毛をなぞってしまうと、小さくなってしまいますので、目じりにそらないで、直線的に長くしましょう。

ポイント 鏡を見て付け根の位置などが左右対称かどうか確認して下さい。

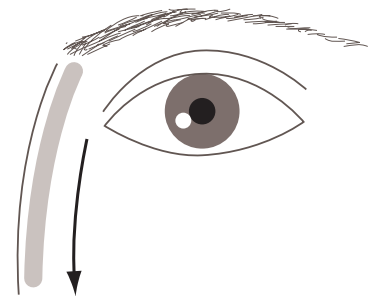


6. ベース部分ができました。



7. アイシャドーの茶で、堀を深く見せます。
 まゆ毛の付け値の下から、鼻に向かって、ぼかします。

注意点 ベースで鼻立てをしているので、あまり濃くならないようにしてください。



7の正面から見た顔



どうです？ 堀が深く見えるでしょう？！

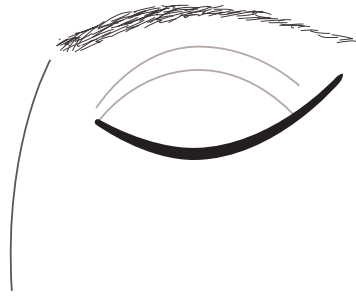
8



8. リキッドのアイライナーでアイラインをひきます。

自分のまつ毛にそって一気にひきましょう。自分の目の終わりで手を止めないで、少し上に向かって直線的に描いて下さい。後でつける付けまつ毛の位置の目安になります。

注意点 乾くまで、しばらく目を開けないで下さい。まぶたに黒い線が出来てしまいます。



8の目を開けた時

9

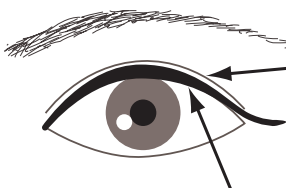


9. 付けまつ毛を付けます。

一番の難関です。ビューラーで自分のまつ毛を良く上げておいて下さい。付けまつ毛の根元に糊を均一に伸ばし、それから先にひいたアイライナーにそって付けます。目を開けた時に付けまつ毛が下がらないようにしましょう。目にかぶらないようにして下さい。舞台上見ると目が開いていないように見えます。最後に自分のまつ毛と付けまつ毛を一緒にマスカラでなじませます。

注意点 ■の人は、自分のまつ毛のすぐ上に付けると、目が開かなくなります。ちょっと違和感があるかもしれませんが、奥二重の上に付けまつ毛を付けます。付けてから自分のまつ毛と付けまつ毛の間をアイライナーで塗りつぶします。

ポイント 付けまつ毛は弱く薄い物があるので、2枚重ねるのをお勧めします。左右の判断は、付けまつ毛の短い方が目頭に来るようにします。



こっこの二重まぶたのラインに付けましょう。

このラインに付けると目が良く開かなくなります。

10



10. あらためてアイライナーをひきます。

さっきひいたアイライナーは、あくまでも付けまつ毛用。今度は、目を開けた時に黒いラインが見える位にアイライナーで描きましょう。目の左右が違う人はこの時調整して下さい。

注意点 ★の人は「え！こんなに描いていいの？」と言う位描いて下さい。まぶたの中にみんな隠れてしまいます。●の人はほどほどに描きましょう。

ポイント 目を閉じた写真でも分かる様に左右の黒の量が違います。目を開いた時に黒のラインが同じ位に見えるようにしましょう。



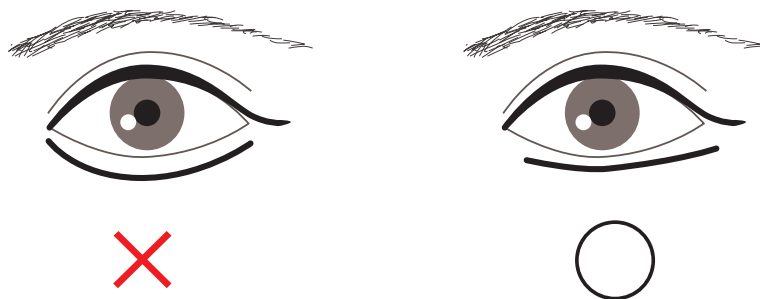
10の目を開けた時

11



11. 下のラインを描きます。

息を止めて一気に描いて下さい。弧を描くように描くと目が真ん丸に見えてしまうので、直線的に描きます。



12



12. まぶたにラインを入れます。

茶のドーランで、細い筆を使ってラインを描きます。ラインの上に粉のアイシャドーで色をたします。ここでは、ブルー・紫を使いました。



12の目を開けた時

13



13. ほお紅で仕上げをします。

ほお骨の上・こめかみ・あごの下などに大きめの筆で、ほお紅を薄く何回にも分けてつけます。

注意点 濃くなりすぎたり、真ん丸くつけないように注意して下さい。「おてもやん」になってしまいます。

ポイント ほお骨にそって、楕円形につけます。あごの下やこめかみにつけるのは、顔の立体感を出すためです。

14



14. 口紅を塗ります。

ドーランで潰しておいた唇を形良く紅筆で塗っていきます。唇が大きいと思っている人は少し内側に塗っていきましょう。加減の分からない人は、自分の唇にそって塗るのがベストです。

注意点 極端に小さくすると、不自然になります。

15



15. これで、完成です。

後は、耳の後ろ、首から背中、腕から指の先にとの粉を塗って…さあ本番！



使用前



使用后